

リハビリの紹介



作業療法士の小松です。今回は週 2 回デイケアをご利用されている A 様のご紹介をします。A 様は元々お世話好きで活発的な方でしたが、認知機能の低下から徐々に物忘れなどの症状が出現してきました。そして、ある時いつも通っていた場所へ行けなくなった事にショックを受け、活動性が一気に低下し、自宅内のベッドで過ごす時間が増えてしまいました。それにより、全身的な筋力が低下して廃用的となり、活動性の低下から認知機能がさらに低下してしまいました。

現在の A 様からは悲観的な発言が多く聞かれますが、家族への感謝の気持ちを常に言葉にしているのが印象的です。A 様の今後の希望は、「できることは自分でやりながらここで暮らしていきたい。」と話されています。デイケアを利用し、メリハリのある生活を送る事が出来たり、リハビリを行う事で全身的な筋力訓練、持久力訓練、認知訓練を行い、活動性の向上から前向きな発言を促せるように介入していきたいと考えています。

そんな A 様に対し、認知訓練として作品作りを提供しました。指先の運動は脳の大きな領域を占めています。そのため、広い領域に刺激を与える事が出来、血流量が増加すると言われております。また、今回の作品作りでは、見本を見ながらではありますが配色や配置など作品の構成を考えながら行って頂きました。単純な指先の運動だけではなくご自身で考えながら作業を行う事で、より認知機能へアプローチする事が出来ていると考えます。A 様は指先の動作は繊細で器用であり、集中し丁寧に作品作りを行う事が出来ました。作業後には A 様から「楽しかった。これなら家でも作ってみたいと思う。」と前向きな発言を引き出す事が出来ました。

今回の認知訓練を通して A 様の得意である手先の運動を行ない、作品を完成させる事で自信にも繋がり意欲が向上し前向きな発言を聞く事が出来たと考えます。今後も認知機能へのアプローチも行いながら、意欲の向上も目指していき、「自分でできることは続けたい。」という A 様の目標を達成していかれたらと思います。又、最近では「畑の草取りも暖かくなったらやらないとね。」という発言も聞かれており、都度リハビリ内容を立案していき、A 様の QOL が向上出来るよう介入したいと思います。

